

第3回世田谷区内における私立幼稚園保護者の「子育てに関するアンケート調査」報告

平成26年3月4日 公益社団法人世田谷区私立幼稚園協会
世田谷区私立幼稚園PTA連合会

【本調査実施の経緯と目的】

平成15年7月「次世代育成支援対策推進法」が成立したことを機に、世田谷区私立幼稚園協会、同PTA連合会では、家庭で子育てに専念している女性の意見が見落とされないよう、加盟稼働全園の保護者を対象に「子育て意識調査」を実施しました。その結果は多方面に大きな反響を呼び、働く母親支援に傾きがちだった行政や世論に在宅育児の重要性の認識を意識付ける結果となりました。

続いて、平成20年にも平成15年とほぼ同じアンケート調査を実施し、当時の子育て意識を探り、行政の子育て支援の取り組みの成果への実感、また、在宅育児家庭の意識がどの程度変化したのか、その推移を把握しました。その結果も第1回同様に、在宅育児支援の重要性を再認識すると同時に、世田谷区の母親の子育て意識がほとんど変わっていないことが明らかになりました。

世田谷区長は「区の人口は増加しています。特に0歳～5歳の子どもは、毎年1,000人ずつ増加していて、平成25年の1年間の最新の数字では一昨年同様938人でした。5歳までの子どもがちょうど1,000人近く増えていくという、全国的にもほとんどない状況になっています。」と述べられています。待機児童の問題、保育所の整備という課題が挙がる中で、住む街として世田谷区が選ばれることから、子どもの側から見た幼児教育の質の充実、保護者の子どもに寄せる思い、子育て環境の向上について、行政・保育関係者・保護者・地域の方々がともに取り組んでいく流れが進んでいると思います。

世田谷区では、現在、「子ども・子育て支援法」に規定する子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、学識経験者、区民等の意見を聴取するため「子ども・子育て部会」が開かれています。

この結果が世田谷区の子育てをする保護者により良き事業計画の策定に反映されることを切に願っております。

【調査方法】

第3回世田谷区私立幼稚園協会加盟園に在籍する園児の家庭へのアンケート調査

- ・ A3用紙1枚(表裏印刷)を各家庭に一部依頼
- ・ アンケート内容 ⇒ 子育て支援に関する意識調査 24問
内訳 { 1. 子ども、幼稚園について 12問
2. 親の子育て意識について 12問(問24は自由記述) }

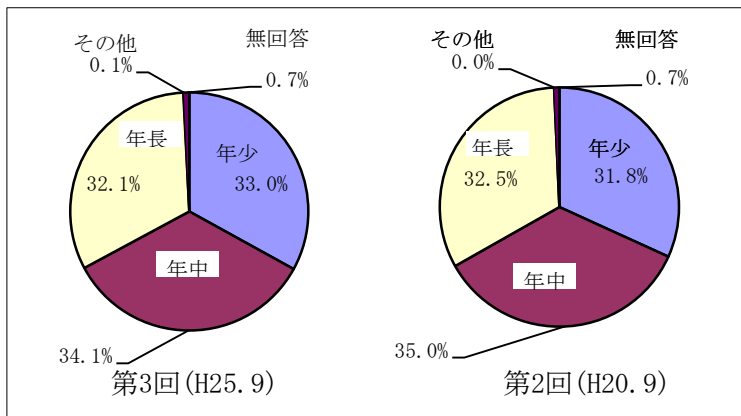
※回収率を高めるため、多肢選択方式を中心とした。

- ・ 実施日：平成25年9月
- ・ 実施園：協会加盟の稼働58園(加盟59園のうち1園は休園中)
- ・ 現在回答園：58園
- ・ 園児数：9,898人
- ・ 配布家庭数：9,362家庭(兄弟姉妹で在園の場合はどちらか1人を対象とする)
- ・ 回答家庭数：7,626件
- ・ 回収率：81.5%

1. 子ども、幼稚園について

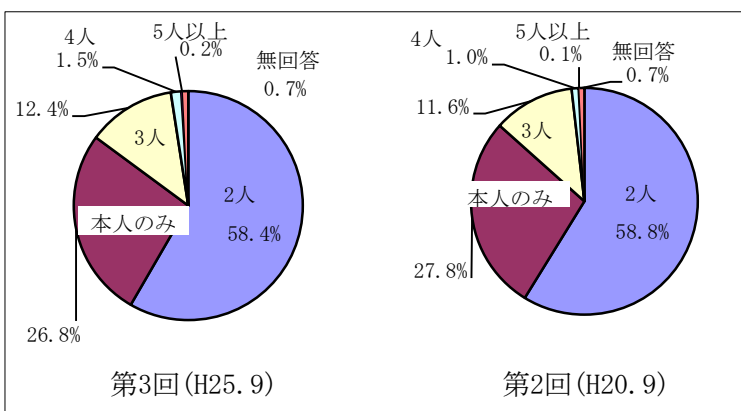
問 1. お子さんの幼稚園での学年

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,569件 回答率：99.3%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	年少組	2,519	33.0%	2,422	31.8%
2	年中組	2,601	34.1%	2,667	35.0%
3	年長組	2,445	32.1%	2,472	32.5%
4	その他	4	0.1%	0	0.0%
*	無回答家庭	57	0.7%	51	0.7%



問 2. お子さんは何人兄弟姉妹ですか。

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,569件 回答率：99.3%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	2人	4,455	58.4%	4,477	58.8%
2	本人のみ	2,043	26.8%	2,112	27.8%
3	3人	941	12.4%	884	11.6%
4	4人	112	1.5%	77	1.0%
5	5人以上	18	0.2%	10	0.1%
*	無回答家庭	57	0.7%	52	0.7%



問 3. 兄弟姉妹の内訳

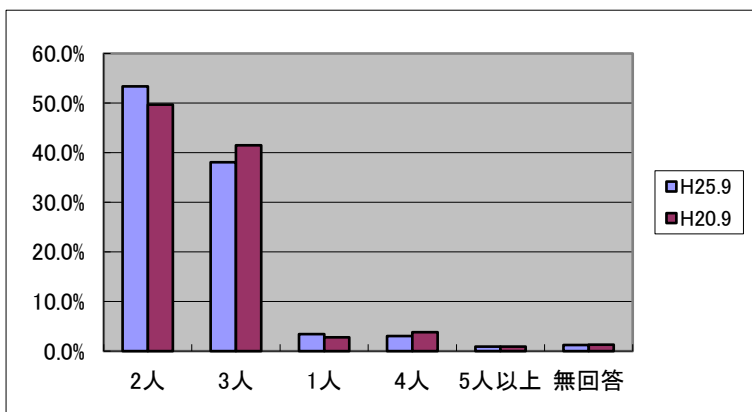
回答対象家庭：5,583件 回答家庭：5,558件 回答率：99.6%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	兄 (当欄回答者に平均：1.10人の兄がいる)	1,920	28.1%	1,916	29.1%
2	姉 (当欄回答者に平均：1.07人の姉がいる)	1,821	26.6%	1,796	27.3%
3	弟 (当欄回答者に平均：1.02人の弟がいる)	1,596	23.3%	1,464	22.2%
4	妹 (当欄回答者に平均：1.00人の妹がいる)	1,477	21.6%	1,400	21.3%
*	無回答家庭	25	0.4%	6	0.1%

問 4. 兄弟姉妹以外の同居の家族

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,353件 回答率：96.4%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答全体比率)	(回答数)	(回答全体比率)
1	父	7,139	97.1%	7,099	97.1%
2	母	7,098	96.5%	7,088	96.9%
3	祖父	398	5.4%	462	6.3%
4	祖母	583	7.9%	699	9.6%
5	その他	126	1.7%	152	2.1%
*	無回答家庭	273	3.7%	301	4.1%

問 5. あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,533件 回答率：98.8%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	2人	4,069	53.4%	3,785	49.7%
2	3人	2,902	38.1%	3,160	41.5%
3	1人	262	3.4%	217	2.8%
4	4人	232	3.0%	286	3.8%
5	5人以上	68	0.9%	68	0.9%
*	無回答家庭	93	1.2%	96	1.3%

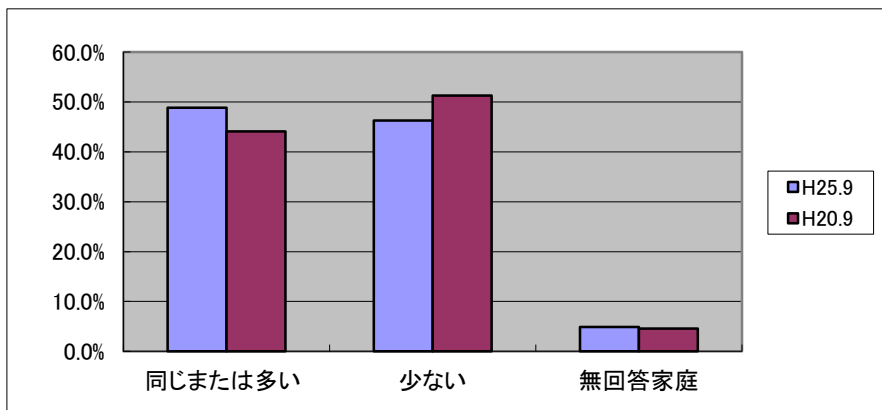


理想とする子どもの数は2人の家庭が、第1回のアンケート調査からわずかに増加し続けている。3人とする家庭がわずかに減少しつづけている。

問 6. 理想とする子どもの数とお子さんの数は

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,252件 回答率：95.1%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	同じまたは多い	3,724	48.8%	3,358	44.1%
2	少ない	3,528	46.3%	3,901	51.3%
*	無回答家庭	374	4.9%	353	4.6%

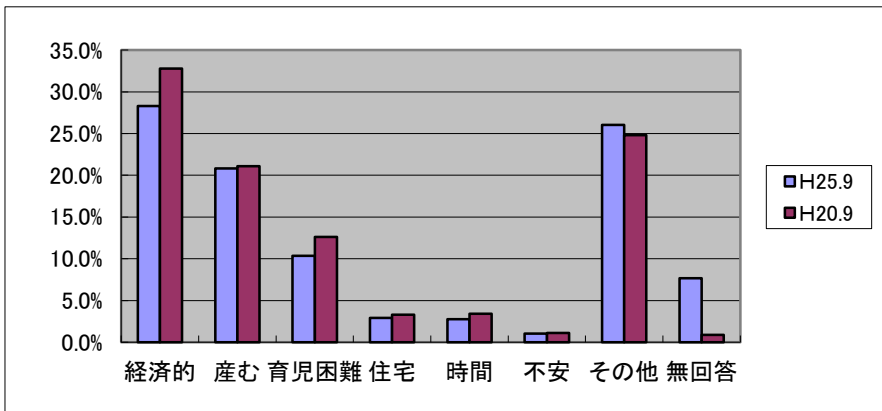
問8へ
問7へ



理想とする子どもの数より少ないとする家庭と、同じまたは多いとする家庭の数が前回と逆転している。第1回から第2回の変化もまた逆転していた。

問 7. 理想とする子どもの人数に対して実際の子どもの数が少ないのはどのような理由からですか。

回答対象家庭：3,902件※前問の無回答家庭含む 回答家庭：3,603件 回答率：92.3%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	教育費などの経済的理由	1,104	28.3%	1,278	32.8%
2	これから産む予定	812	20.8%	824	21.1%
3	これ以上子どもが増えると育児困難だと思うから	408	10.4%	493	12.6%
4	家が狭い等の住宅事情	114	2.9%	130	3.3%
5	仕事や趣味等で自分の時間を持ちたいから	108	2.8%	131	3.4%
6	子どもの将来に不安を感じるから	41	1.1%	44	1.1%
7	その他	1,016	26.0%	968	24.8%
*	無回答家庭	299	7.7%	33	0.9%



理想とする子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由は経済的な理由が3回連続してトップである。今回は、これから産む予定の家庭も減っている。

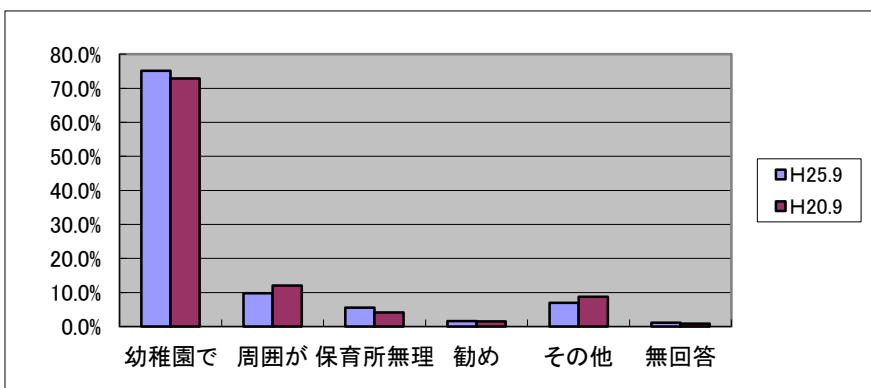
問 8. お子さんは幼稚園入園前、集団生活に参加したことがありますか。

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,499件 回答率：98.3%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	スイミング、体操教室などへ親子で参加していた	2,597	34.0%	2,805	36.9%
2	週数回の1～2歳児保育へ通わせた	1,547	20.3%	1,392	18.3%
3	どこにも参加していなかった	1,230	16.1%	1,369	18.0%
4	保育所に行っていた	847	11.1%	587	7.7%
5	託児施設に預けていた	533	7.0%	443	5.8%
6	その他	745	9.8%	878	11.5%
*	無回答家庭	127	1.7%	138	1.8%

就園前に、どこにも参加していない子、スイミング、体操教室などへ親子で参加していた子は第1回から減り続けている。保育所、託児所は第1回は8.7%で、2倍以上ポイントが増えている。

問 9. お子さんを幼稚園に入園させたのはどのような理由からですか。(○は2つまで可)

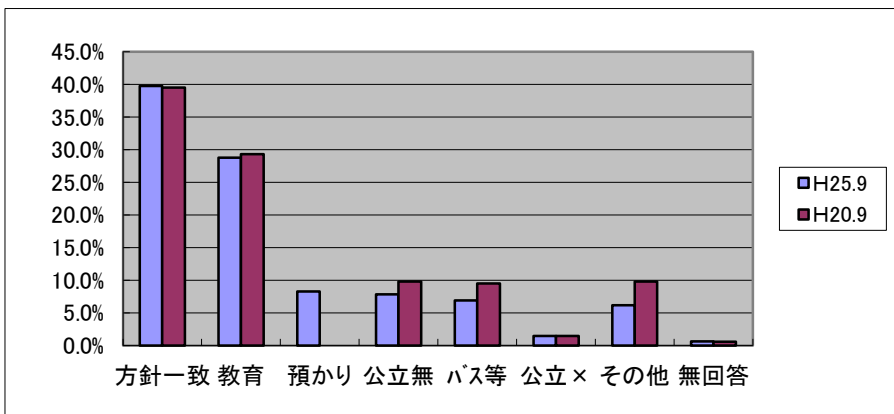
回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,535件 回答率：98.8%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	幼児期の教育は幼稚園でと思ったから	6,610	75.2%	6,524	72.9%
2	周囲のみんなが幼稚園に行っているから	857	9.7%	1,073	12.0%
3	保育所に行かせたかったが条件が整わなかったから	490	5.6%	369	4.1%
4	幼稚園に入園した方が良く人に勧められたから	136	1.5%	130	1.5%
5	その他	609	6.9%	779	8.7%
*	無回答家庭	91	1.1%	68	0.8%



幼稚園に入園したい理由は、幼児期の教育は幼稚園でと思ったからという回答が3回連続増加しており、(第1回69.7%、第2回72.9%、第3回75.2%)幼稚園への評価は上がり続けている。

問10. お子さんを私立幼稚園に入園させた理由は(2つまで選択可)

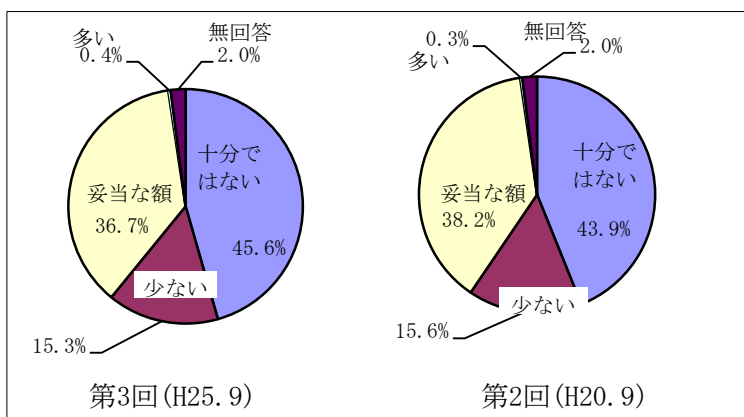
回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,554件 回答率：99.1%		第3回(H25.9)		第2回(H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	入園させた園の方針と家庭の方針が一致したから	4,512	39.8%	4,374	39.5%
2	私立幼稚園は特色ある教育を行っているから	3,264	28.8%	3,242	29.3%
3	預かり保育を実施しているから	938	8.3%	—	—
4	近くに公立幼稚園(保育所)がなかったから	893	7.9%	1,081	9.8%
5	私立幼稚園はバスや給食を実施しているから	785	6.9%	1,051	9.5%
6	公立幼稚園(保育所)に入れなかったから	176	1.5%	163	1.5%
7	その他	702	6.2%	1,089	9.8%
*	無回答家庭	72	0.6%	71	0.6%



入園させた園の方針と家庭の方針が一致していることを私立幼稚園を選ぶ理由にしている家庭が3回連続微増している。

問11. 私立幼稚園児の保護者に対する現在の助成金について

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,471件 回答率：98.0%		第3回(H25.9)		第2回(H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	十分ではない	3,474	45.6%	3,340	43.9%
2	少なすぎる	1,169	15.3%	1,191	15.6%
3	妥当な額だと思う	2,801	36.7%	2,904	38.2%
4	多い	27	0.4%	25	0.3%
*	無回答家庭	155	2.0%	152	2.0%

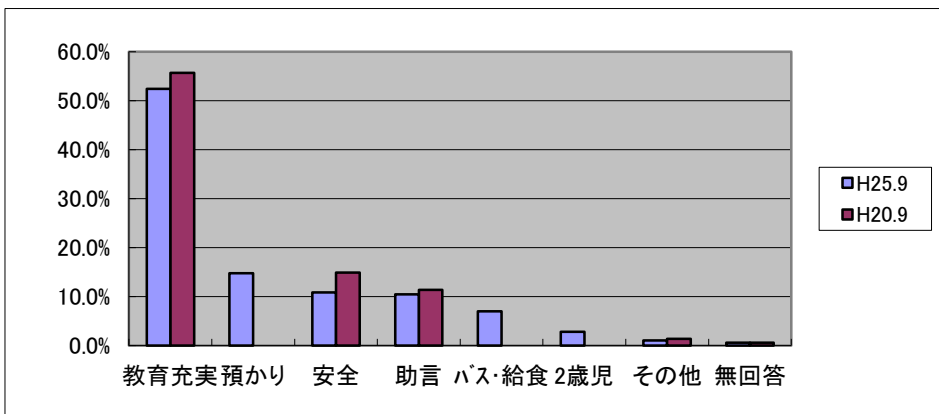


第1回(H16.2)	
(回答数)	(回答数比率)
3,410	43.3%
1,309	16.7%
3,015	38.3%
26	0.3%
111	1.4%

保護者への補助金が十分ではない、少なすぎるとする家庭が3回連続して伸びている。

問12. 私立幼稚園に期待することは何ですか。(2つまで選択可)

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,547件 回答率：99.0%		第3回(H25.9)		第2回(H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	家庭だけではできない幼児期の保育・教育の充実	6,993	52.4%	7,084	55.7%
2	預かり保育	1,972	14.8%	5と重複:2,031	5と重複:16.0%
3	安全対策	1,452	10.9%	1,900	14.9%
4	子育てへのアドバイス(助言)	1,398	10.5%	1,456	11.4%
5	バス、給食など	934	7.0%	2と重複:2,031	2と重複:16.0%
6	2歳児保育の実施	375	2.8%	—	—
7	その他	137	1.0%	174	1.4%
*	無回答家庭	79	0.6%	78	0.6%

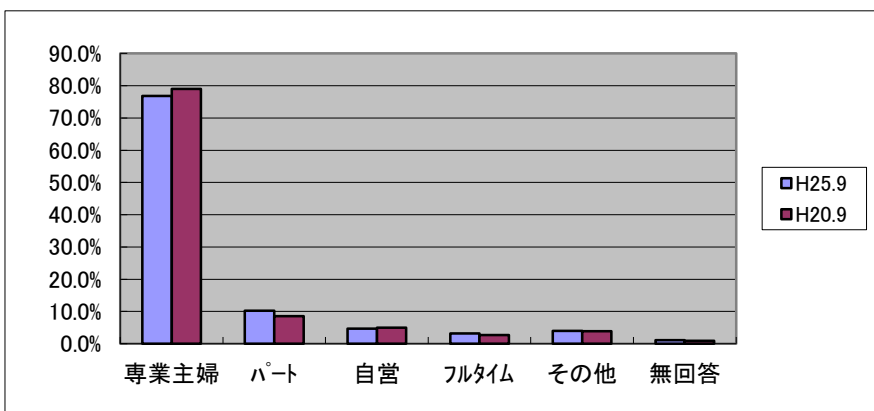


預かり保育、バス、給食などを期待する家庭が大きく増えてきているが、やはり私立幼稚園に通わせる親の半数以上は保育・教育の充実に期待している。

2. 親の子育て意識について

問13. お母さんのお仕事について

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,545件 回答率：98.9%		第3回(H25.9)		第2回(H20.9)		
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)	
問14へ	1	現在は専業主婦で仕事は全くしていない	5,863	76.9%	6,011	79.0%
問17へ	2	パートタイムで働いている	779	10.2%	648	8.5%
問17へ	3	自営業のため手伝っている	352	4.6%	384	5.0%
問17へ	4	フルタイムで働いている	242	3.2%	207	2.7%
問17へ	5	その他	309	4.0%	295	3.9%
	*	無回答家庭	81	1.1%	67	0.9%



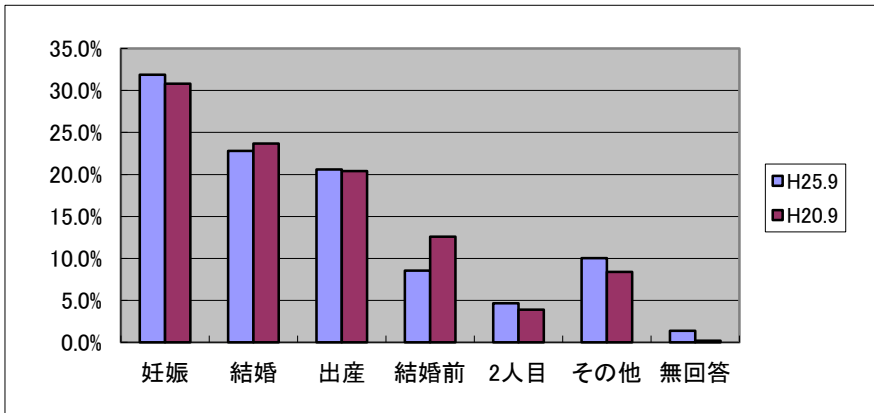
世田谷区私立幼稚園の保護者である母親は、大多数が専業主婦だが、パートタイム、フルタイムで働いている母親も微増している。

問14. これまでに仕事(フルタイム・パート)をしていたことがありますか。

回答対象家庭：5,944件※前問の無回答家庭含む 回答家庭：5,868件 回答率：98.7%		第3回(H25.9)		第2回(H20.9)		
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)	
問15へ	1	ある	5,355	90.1%	5,271	87.7%
問18へ	2	ない	513	8.6%	726	12.1%
	*	無回答家庭	76	1.3%	14	0.2%

問15. いつ仕事をやめましたか。

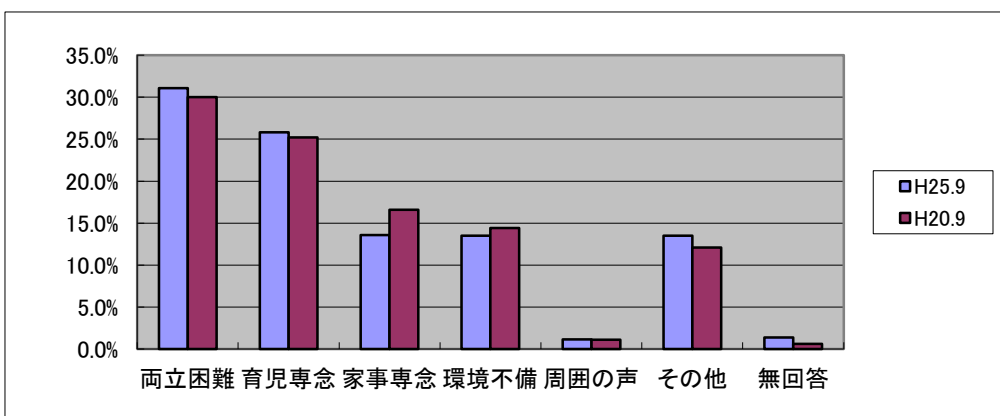
回答対象家庭：5,431件※前問の無回答家庭含む 回答家庭：5,356件 回答率：98.6%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	妊娠した時	1,732	31.9%	1,625	30.8%
2	結婚した頃	1,238	22.8%	1,247	23.7%
3	出産の時	1,119	20.6%	1,076	20.4%
4	結婚する前	470	8.6%	666	12.6%
5	2人目を妊娠(出産)したとき	253	4.7%	204	3.9%
6	その他	544	10.0%	442	8.4%
*	無回答家庭	75	1.4%	11	0.2%



仕事をしてきた母親が退職する時期は、妊娠・出産が3回連続で増えており、結婚する前に退職する人は3回連続減少している。

問16. 仕事を辞めたのはどんな理由からですか。(2つまで選択可)

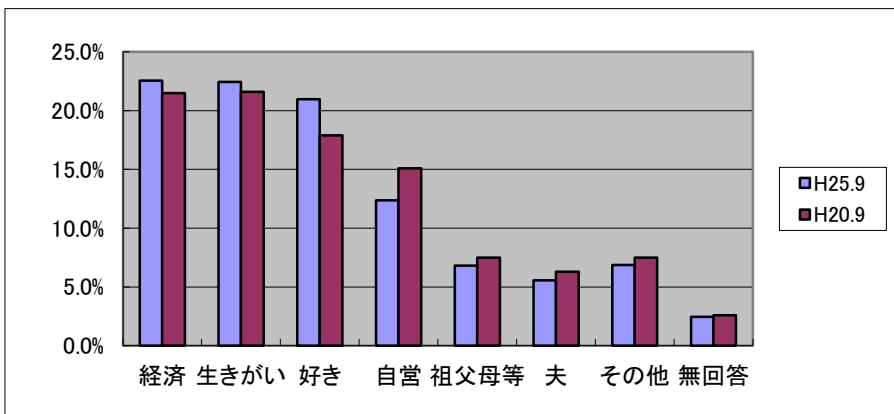
回答対象家庭：5,431件 回答家庭：5,336件 回答率：98.3%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)		
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)	
問18へ	1	仕事と育児の両立が困難だと思ったため	2,170	31.1%	2,057	30.0%
問18へ	2	育児に専念したかった	1,802	25.8%	1,731	25.2%
問18へ	3	家事に専念したかった	947	13.6%	1,141	16.6%
問18へ	4	職場が結婚後も勤められる環境になかった	941	13.5%	990	14.4%
問18へ	5	周囲に勧められたため	80	1.1%	73	1.1%
問18へ	6	その他	943	13.5%	834	12.1%
	*	無回答家庭	95	1.4%	0	0.6%



仕事と育児の両立が困難だと思い、育児に専念したい母親が増え続けている。職場が勤められる環境になかった母親は減り続けている。

問17. 子育てをしながら仕事を続ける理由は何ですか。(2つまで選択可)

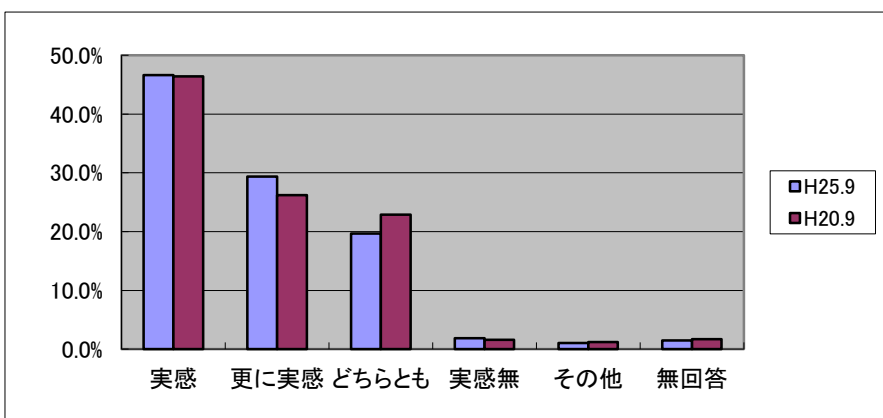
		第3回 (H25. 9)		第2回 (H20. 9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
回答対象家庭	: 1,682件				
回答家庭	: 1,617件		回答率: 96.1%		
1	経済的理由から	600	22.5%	504	21.5%
2	専門の知識や技術を生かすことが生きがいったから	597	22.4%	506	21.6%
3	働くのが好きだから	558	21.0%	419	17.9%
4	自営業のため	329	12.4%	354	15.1%
5	祖父母など子どもの面倒を見てくれる人がいたから	181	6.8%	177	7.5%
6	夫が協力してくれるから	148	5.6%	147	6.3%
7	その他	183	6.9%	176	7.5%
*	無回答家庭	65	2.4%	60	2.6%



子育てしながら働く理由は、経済的な理由が今回は一番高い。働くことが好きな母親も3回連続増えている。

問18. 現在、子育てをしていて「女性の生きがい」を実感していますか。

		第3回 (H25. 9)		第2回 (H20. 9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
回答対象家庭	: 7,626件				
回答家庭	: 7,514件		回答率: 98.5%		
1	実感している	3,557	46.6%	3,531	46.4%
2	おおいに実感している	2,239	29.4%	1,995	26.2%
3	どちらともいえない	1,499	19.7%	1,745	22.9%
4	全く実感がない	141	1.8%	125	1.6%
5	その他	78	1.0%	87	1.2%
*	無回答家庭	112	1.5%	129	1.7%

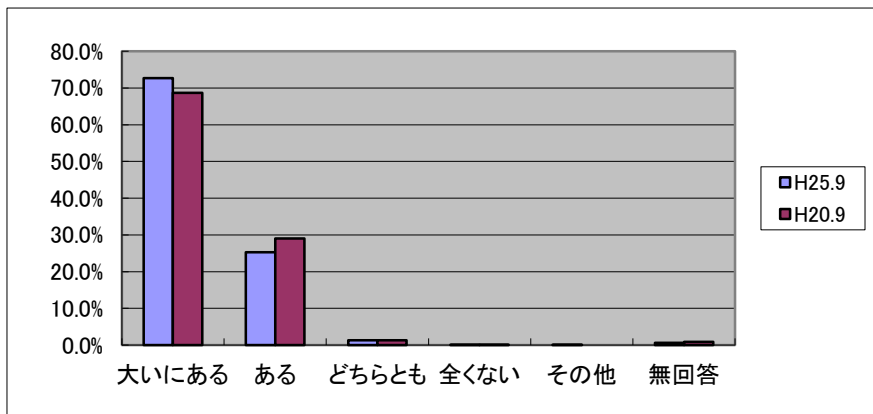


第1回 (H16. 2)	
(回答数)	(回答数比率)
3,564	45.3%
1,794	22.8%
2,094	26.6%
181	2.3%
117	1.5%
121	1.5%

子育てに「生きがい」を感じている母親は76%で、3回連続増えており、第1回から約8ポイント増えている。

問19. 子育てをされていて良かったことや喜びを感じたことがありますか。

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,579件 回答率：99.4%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
問20へ	1	5,544	72.7%	5,232	68.7%
問20へ	2	1,927	25.3%	2,207	29.0%
問20へ	3	103	1.4%	98	1.3%
問21へ	4	3	0.0%	4	0.1%
問20へ	5	2	0.0%	3	0.0%
	* 無回答家庭	47	0.6%	68	0.9%

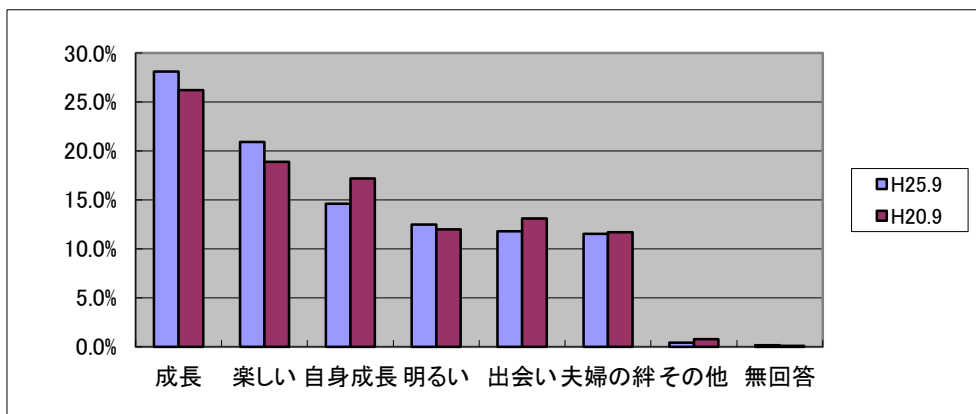


第1回 (H16.2)	
(回答数)	(回答数比率)
5,017	63.7%
2,641	33.6%
148	1.9%
5	0.1%
1	0.0%
59	0.7%

子育てをしてもよかったと思う母親は「おおいにある」が72.7%で第1回から9ポイント増えている。「ある」と合わせると3回連続して増加している。

問20. 子育てをされていて良かったことや喜びはどんなとき感じましたか。(3つまで選択可)

回答対象家庭：7,623件※前問の無回答家庭含む 回答家庭：7,591件 回答率：99.6%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	日々、成長する姿を見ていて	5,968	28.1%	5,533	26.2%
2	子どもと一緒にいることが楽しい	4,441	20.9%	3,990	18.9%
3	自分自身が人間的に成長する気がする	3,101	14.6%	3,632	17.2%
4	家庭のなかが明るい	2,650	12.5%	2,540	12.0%
5	子どもを通してたくさんの人と出会える	2,506	11.8%	2,752	13.1%
6	夫婦や家族の絆が強くなる	2,449	11.5%	2,459	11.7%
7	その他	91	0.4%	166	0.8%
*	無回答家庭	32	0.2%	10	0.1%

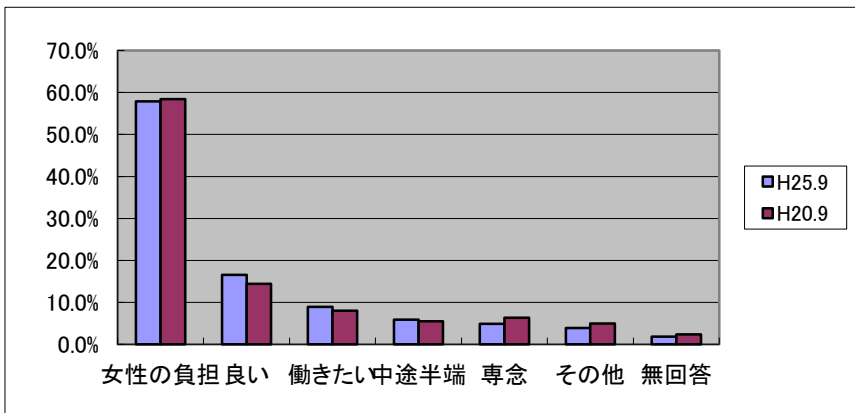


第1回 (H16.2)	
(回答数)	(回答数比率)
5,566	25.7%
3,725	17.2%
3,716	17.2%
3,126	14.4%
2,759	12.8%
2,628	12.1%
137	0.6%
0	0.0%

子育てをされていて良かったことや喜びを、子どもとのつながりの中で感じる母親が3回連続増えている。

問21. 乳幼児の子育てをしながら女性が働くことについて、どう思いますか。

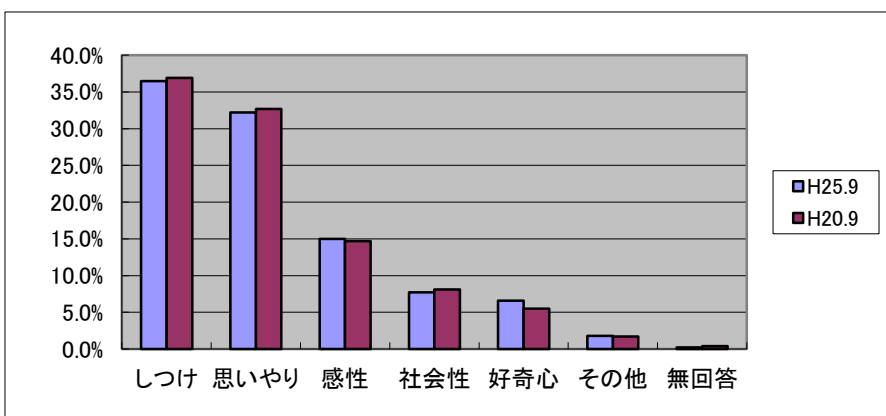
	回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,483件 回答率：98.1%	第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	とてもたいへんなことで、女性の負担が大きいと思う	4,414	57.9%	4,444	58.4%
2	良いことだと思う	1,270	16.6%	1,098	14.4%
3	できれば働きたいと思う	679	8.9%	607	8.0%
4	どちらも中途半端になると思う	447	5.9%	418	5.5%
5	子育ては大事なことから専念すべきだと思う	375	4.9%	481	6.3%
6	その他	298	3.9%	384	5.0%
*	無回答家庭	143	1.9%	180	2.4%



子育てをしながら、女性が働くことが負担だと感じる母親が多いが、肯定的に考える母親も微増している。

問22. 子育ての中で家庭で主に育つのは何だと思えますか。(3つまで選択可)

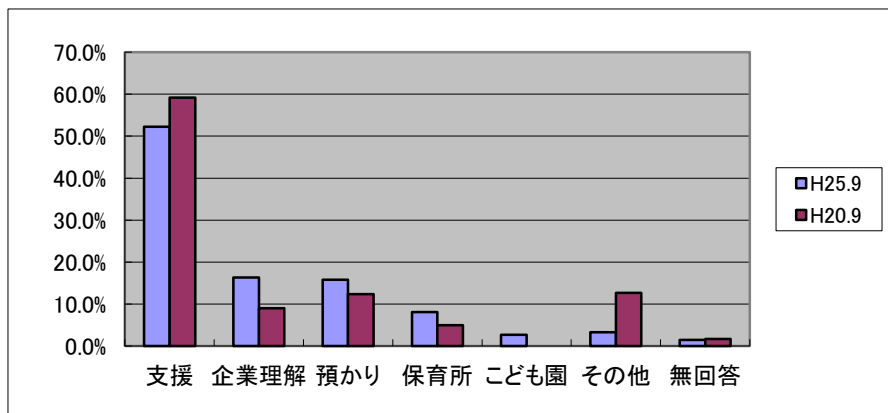
	回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,581件 回答率：99.4%	第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	生活習慣やしつけ	6,826	36.5%	6,874	36.9%
2	温かい思いやり	6,026	32.2%	6,084	32.7%
3	感性	2,802	15.0%	2,737	14.7%
4	社会性 (人間関係)	1,443	7.7%	1,503	8.1%
5	知的好奇心	1,233	6.6%	1,029	5.5%
6	その他	335	1.8%	313	1.7%
*	無回答家庭	45	0.2%	73	0.4%



生活習慣やしつけ、温かい思いやり、感性が家庭で育つと考えている母親が83.7%である。

問23. あなたは少子化対策として行政にすすめてほしいことは何ですか。

回答対象家庭：7,626件 回答家庭：7,507件 回答率：98.4%		第3回 (H25.9)		第2回 (H20.9)	
		(回答数)	(回答数比率)	(回答数)	(回答数比率)
1	専業主婦の価値を認めた(教育費への支援を含めて)子育て支援をしてほしい	3,983	52.2%	4,509	59.2%
2	育休や短時間労働の充実(企業の理解)	1,248	16.4%	683	9.0%
3	幼稚園の預かり保育の充実	1,206	15.8%	941	12.4%
4	保育所の充実	617	8.1%	381	5.0%
5	認定こども園の充実	203	2.7%	—	—
6	その他	250	3.3%	965	12.7%
*	無回答家庭	119	1.5%	133	1.7%



育休や短時間労働の充実、預かり保育・保育所の充実など、社会環境の改善を求める母親が増えている。これが「専業主婦の価値を認めた支援」のポイントをやや減少させてきている。(第1回60.3%、第2回59.2%、第3回52.2%)しかし依然として「専業主婦の価値」への期待は圧倒的に高い。

問24. 子育て中に母親として、行政・幼稚園に期待することや、少子化に対するご意見等がありましたらお書き下さい。

問24は、5年前と同じく自由記述欄とした。回答数7,626件中、記述されていたのは2,661件で全体の34.9%でした。(前回は回収数7,612件中、記述されていたのは2,853件、全体の37.5%、前々回は回収数7,871件中2,689件で34.2%)

内容的には、広範囲に亘っていますが、関心の高さは依然として感じられます。

待機児童解消、幼保一体化の問題で、子育て環境に関する報道が以前より増えている事が影響していると思われます。その中でも、幼稚園に対しては保育の質の充実、一時預かりなど保護者負担の軽減を求める声が多く見られました。少子化に関しての行政の取り組みに、専業主婦の立場、価値を認めて欲しいという内容や子どもの一時預かりなど保護者負担の軽減、不妊治療など出産に関する意見が多かったです。その他、防災、防犯、高齢者との交流などへの要望も多かったです。

以下代表的な回答を列挙します。

①少子化に関するご意見

- ・幼稚園教育は子どもの根底を育てる基盤となる必要な教育制度で、育児の上でも家庭環境が最も重要である。その教育環境への支援を充実させることが少子化への歯止めとなると思う。
- ・働く女性中心の政策となっている。育児に専念する専業主婦はどんどん肩身が狭い。

- ・子どもが小さいうちは家で専業主婦として家事育児に専念しても大丈夫なような支援を全ての人に平等に行なって欲しい。
- ・日々子育てに一生懸命向き合っているお母さん達の地位を認めて欲しい。
- ・国の財産である子どもたちを育てるのだから子どもたちの人数に応じて専業主婦に対しての支援が欲しい。
- ・男性も育休を取りやすい環境を希望勤務地や職務内容について、子育て中の人に配慮してくれるよう企業にワークライフバランスを整える取り組みを求める。
- ・雇用にはフルタイム前提の所が多い。子どもがいても働きやすい職場の充実をもっと進めて欲しい。
- ・幼稚園の無償化はありがたいが、何らかの負担が上がることになる。消費税増税と財政の無駄の見直しと改善を求める。
- ・教育費がかかるので、子どもをもっとたくさん欲しいけど、2人までが限度かなと思うので、教育費をもっと国に負担をしてもらいたい。そうすれば少子化対策にも有効だと思う。
- ・子育てに専念した後に再就職を希望する母親は多い。社会復帰しやすい制度となるよう整備をして欲しい。
- ・子どもを連れての外出の際、肩身が狭い。周囲の理解、配慮を望む。行政からもキャンペーンのようなものがあると良い。
- ・高額である不妊治療、出産助成、育児手当の増額を求める。

②幼稚園および幼児教育について行政に望む事

- ・保育の拡充という目先の支援ではなく、未来への投資として子どもを全力で守り、育てるための社会システムの変換を考え直さないと質の良い日本人は減少する。
- ・親の為の支援ではなく本当に子ども達に恩恵のある制度が出来ることを望む。
- ・女性の社会進出ばかりを推進しても、子どもたちへの愛情不足や精神状態の偏りが目立ってしまうのではないかな？
- ・自治体や国で義務づけられた予防接種は、園や学校で行なって欲しい。
- ・預り保育を行なっている幼稚園はありますが、幼稚園がお休みのとき(夏休みや冬休み等)も預ってもらえるようにして欲しい。
- ・子ども自身の能力やペースに合うように、できれば発達障害について専門知識のある方の支援を受けて、個人指導を充実し、集団場面に適応していけるようサポートする体制を整えて欲しい。
- ・私立幼稚園は人員が少なすぎる。公立なみの人員を確保できるような行政からのサポートをお願いしたい。
- ・防犯、防災対策に園と行政がもっと取り組んで欲しい。
- ・病時預かりを充実してほしい
- ・私立幼稚園と区立幼稚園の保育料の差が有りすぎる。
- ・0,1,2歳児の保育所の定員を増やして欲しい。

- ・プレ保育をもっと体験できるようにして欲しい。1年通してでなくても、期間を区切って色々な幼稚園を体験できると、子どもに合う幼稚園がわかる。
- ・幼稚園に幼稚園ママ用の求人案内があるとよい。

③その他

- ・安全な街づくり。子どもの遊び場の整備。通学路を安全に確保、車の進入禁止をふやす。
- ・通園路において一方通行の反対側にもミラーを設置して欲しい。
- ・不審者情報を区のメール・ベルスで行なうと良い
- ・地域の高齢者施設や障害者施設との交わりがあったり、他言語・他文化への触れる機会があったりすると良い。

【まとめ】

今回の結果も、前回と比較しやすいように主に棒グラフにしました。

質問を一瞥してわかるように5年前と順位も比率も似ています。回答した母親はほとんど入れ替わっているにもかかわらず大きな変化がないことは、世田谷区の私立幼稚園に通わせている母親意識はほとんど変わっていないことがわかります。

ただ、今回は5年前と社会情勢が変化していますので質問項目を若干変えました。預かり保育が入園させた理由または期待することとして、どの程度の位置を占めているかを聞いたところ、バスや給食よりもやや重視していることが分かりました。

また、女性の社会進出のサービスばかりが話題となり、保育環境の整備不足などから保育のバブルや子どもの発達への影響に不安を持つ親が多くなっている事を感じます。

2歳児保育についても関心は若干ありますが、それほど大きくはないようです。

子育てをすることに喜びを感じている母親の思いは、前回よりも増えています。

子育てのなかで家庭で主に育つのは、生活習慣やしつけ、温かい思いやり、感性だと考えている母親が大多数をしめており、あえて専業主婦を選ぶ意識がはっきりと感じられます。

子どもの成長する姿を見ること、一緒にいることを楽しいと感じる気持ちが強くなっているようです。子育てをしながら、女性が働くことは負担が大きくなりたいへんなことだと受けとめる母親が微減し、肯定的に考える母親が微増しているのは、意識の流れに少し変化があるように感じられます。

少子化対策として、行政に望むことは、補助金などの支援を望む声が一番大きかったのですが、育休や短時間労働充実、預かり保育を望む声も高まっています。

前々回から前回のアンケートで、子どもの数が3人を望む家庭が減り、2人を望む家庭が増えていますがその傾向は今回のアンケートでも続いていることがわかりました。

世田谷区は、「子ども・子育て会議」を開催し、子育て環境の充実を図っています。経済的な援助や施設の整備が十分でないなかでも、子育てに喜びと意欲を見出しながら取り組んでいる在宅育児家庭に、どのくらい支援の目を向けていくのか、これから見届けていく必要があると思います。

【おわりに】

今回の調査の回収率は、前回の82.4%よりも0.9ポイント減少いたしました。それでも、81.5%という回収率は少ない回収率とはいえません。

また、父親へのアンケートも「子育ては両親です」という観点からも、今後の検討課題であると思います。

協力してくださった保護者の皆様、各園の教職員の皆様に感謝し、この結果が行政の施策に少しでも反映されるよう期待したいと思います。